

(3) 役場の仕事と診療所^{しんりょうじょ}

人間は、いつ病気になったりけがをしたりするかわかりません。病気やけが^{たい}に対して、すぐに治療^{ちりょう}ができるようにすること、また、病気にならないようにその予防^{よぼう}をすることは、村民の健康な生活を守るうえで、とても大切なことです。このような仕事は、役場や診療所が中心となって行っています。

役場の仕事

役場では、特に病気^{どく}の予防のために、計画を立て診療所^{しんりょうじょ}と協力して実行^{じっこう}しています。

みなさんが受ける予防接種^{ぼうせつしゅ}も役場が計画を立てて行っているものです。

役場の健康面に関する事業計画（主なもの）

- ・ 予防接種（日本脳炎、風しん、はしか、BCGなど）
- ・ 結核検診（ツベルクリン反応検査、X線撮影など）
- ・ 健康教育（シェイプアップ教室、食と健康教室など）
- ・ 健康相談（肥満健康相談、老人健康相談など）
- ・ 健康検査（がん検診など）
- ・ 訪問指導（家庭に出向いて健康に関するアドバイスを
する）
- ・ その他（ふれ愛健幸まつり、親子料理教室、献血）

診療所

昭和村は、長い間医者^{いしや}のいない村でした。そのため、村人が病気やけがをしたときには、金山町や田島町などに運ばなければなりませんでした。また、道路^{せいび}が整備されず自動車などがそれほど走っていないころは本当に大変^{たいへん}でした。冬になると、もっと大変でした。

そこで、昭和13年によく診療所ができました。現在、診療所には内科医^{ないがい}1名、歯科医^{しかい}1名、歯科助手^{じょしゅ}1名、看護婦^{かんごふ}2名、事務^{じむ}2名の合計7名が働いています。村民にとって身近な医療機関^{みちか いりょうきかん}として、子供から大人、老人まで、多くの村民が^{せわ}お世話になっています。